

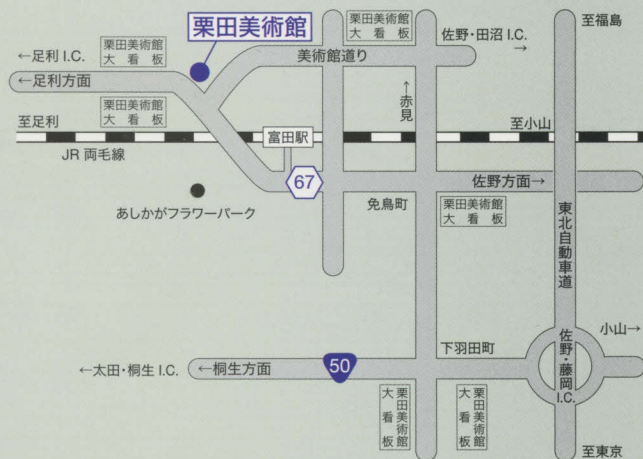
休館日＝月曜日(但、祝日の場合翌日)、年末年始(12月28日—1月2日)

開館時間＝午前9時30分より午後5時まで

入館料＝一般1250円／小中高生500円 団体20名以上20%割引

※休館日及び開館時間は、季節により変更する場合がございます

- 東武伊勢崎線足利市駅下車タクシー利用、15分
- JR両毛線富田駅下車、徒歩10分
- 東北自動車道利用の場合、佐野・藤岡インターより15分
- 北関東自動車道利用の場合、佐野・田沼インター又は足利インターより15分
- 無料大駐車場あり



栗田美術館

〒329-4217 栃木県足利市駒場町1542番地
Tel.0284-91-1026(代) Fax.0284-91-2153 <http://www.kurita.or.jp/>

KURITA MUSEUM

1542, Komaba-cho, Ashikaga-shi, Tochigi-ken

栗田美術館

KURITA MUSEUM

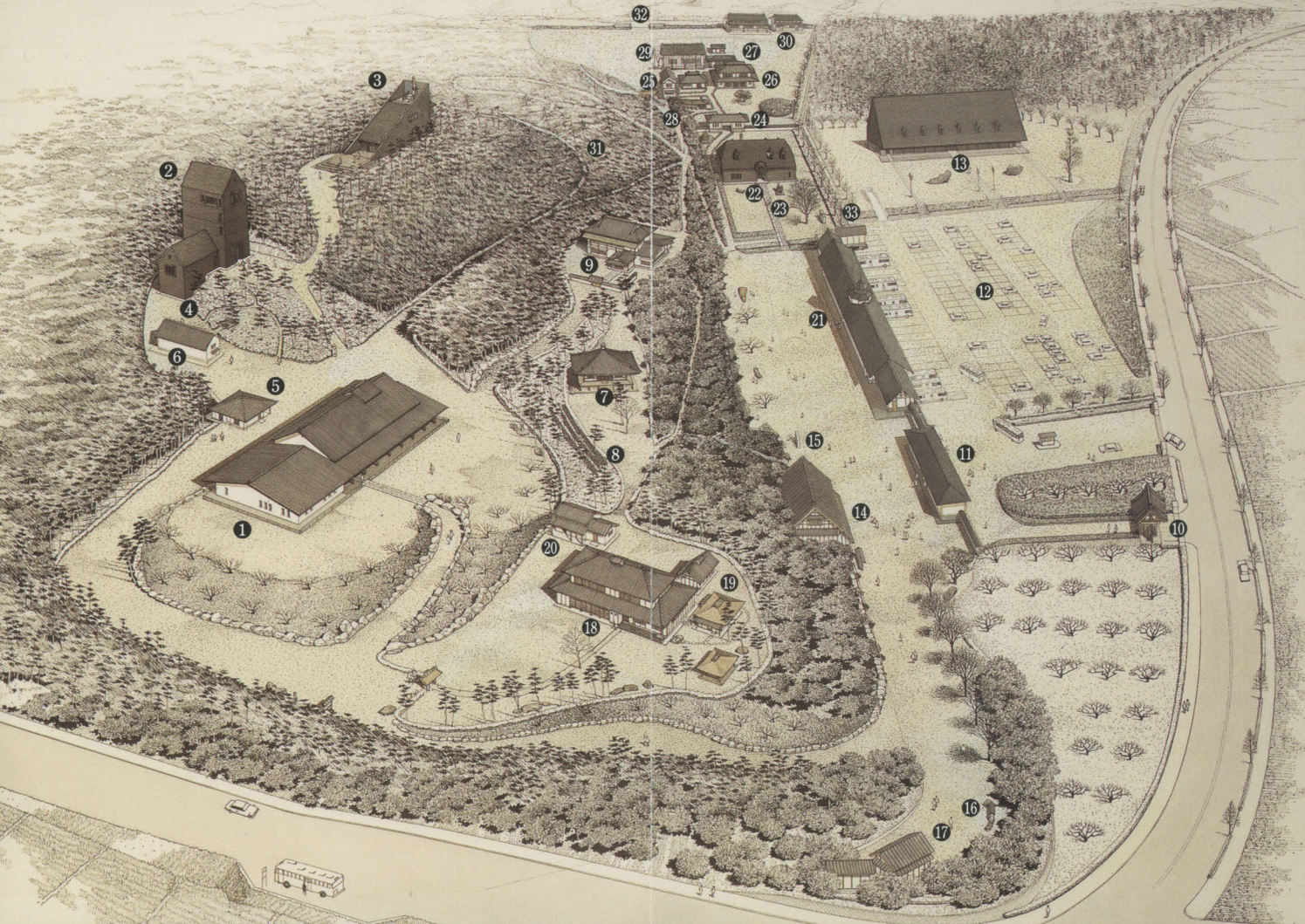


伊萬里色絵鸚鵡置物



KURITA MUSEUM 栗田美術館

入館券(団体)



栗田美術館案内図

- ①本館
- ②歴史館
- ③無名陶工祈念聖堂
- ④創立者記念碑
- ⑤学芸員室
- ⑥資料館
- ⑦開山堂
- ⑧寿光院石仏
- ⑨寿光院 (迎賓館)

- ⑩正門
- ⑪大手門 (入場券発売所)
- ⑫大駐車場
- ⑬世界陶磁館
- ⑭ギャラリー
- ⑮栗田美術館回顧と展望碑
- ⑯万葉碑
- ⑰お手洗
- ⑱栗田山荘

- ⑲寿光院 (茶室)
- ⑳お手洗
- ㉑阿蘭陀館 (ミュージアムショップ)
- ㉒陶磁会館 (喫茶室)
- ㉓志向の像
- ㉔陣屋門 (お手洗)
- ㉕栗田嵐嶽記念館
- ㉖陶磁研究所 (工房)
- ㉗お手洗

- ㉘登り窯
- ㉙事務所
- ㉚倉庫
- ㉛山草園
- ㉜通用門
- ㉝お手洗



歴史館



歴史館展示室

栗田美術館創立者のことば

栗田美術館は創立者故栗田英男(平成8年没)の蒐集による伊萬里、鍋島を館蔵する世界最大級の陶磁美術館である。

美術館は足利市の郊外にあり、三万坪の景勝の地を選び自然を生かし、山野草を中心とした作庭の中に本館、歴史館、無名陶工祈念聖堂、陶磁会館が屹立し、また阿蘭陀館、世界陶磁館がある。建築物は極めて格調高く、展示する名陶と共に陶磁器を愛する世界の人達から個性豊かな魅力ある殿堂として多くの期待と賞賛を浴びて今日に至っている。この地には日本最古の大学「足利学校」、足利尊氏の始祖が創建した「ばんな寺」等があり、古き歴史の香り高いところである。

美術館の極めて大きな特色は江戸時代(1603-1867年)肥前鍋島藩で生産された伊萬里、鍋島のみを展示するので、これ以外の作品に対しては一顧だにせざる信念と一貫した思想の美術館であるところに大いなる特色がある。いうなれば美術館全体が伊萬里、鍋島に至心の気魂と情熱を傾けて建設した城郭なのである。

伊萬里は日本で最初に作られた磁器で、オランダ東印度会社によって西欧に輸出され、日本はもとよりヨーロッパ、アジアの人達に最も愛され親しまれたものである。特に豪華絢爛たる赤絵は圧巻であり、また想像を絶する複雑豊富な形状は世界に於ける最も変化ある磁器としてわれわれに無限の楽しみと喜びを与えてくれるものである。

鍋島は藩窯として藩主の自家用品、贈答品、献上品として特別の配慮と組織のもとに制作されたもので、非凡な様式美を樹立し、陶磁工芸の何れの面から見ても他の追従を許さないものである。

これらの作品は遙か三百年の昔、日本人がこよなく美を愛した心、平和を希求した生活を土台として作られたもので、極めて尊いことは、今の時代には到底求めることのできない名もなき陶工達の誠の心の作品であり、清廉寡欲な生活の中から生まれたものである。

この美術館が伊萬里、鍋島に限られ、然も無名陶工の無限の含蓄を秘めた作品のみを展示するところが他の美術館と根本的に異なる所以であって、ここに大きな意義と高い誇りと真実味を感じるのである。



本館



本館展示室



鍋島色絵岩牡丹植木鉢文大皿〔重要文化財〕

栗田美術館／特集陳列

伊萬里 江戸後期の



2016年3月19日〈土〉～8月28日〈日〉

伊萬里 色絵ロシア使節来航文輪花皿

時 間：午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）
休 館 日：月曜日 祝日の場合は翌日
ただし4・5月の休館日および開館時間は変更する場合があります
会 場：陶磁会館1階展示室
入 館 料：一般1,250円(1,000円)／小・中・高500円(400円)
（ ）カッコ内は20名以上の団体料金

このチラシをご持参の場合は会期中団体料金にてご入館いただけます
また、他の割引券との併用はできません

栗田美術館 KURITA MUSEUM

〒329-4217 栃木県足利市駒場町1542番地
TEL.0284-91-1026(代)・FAX.0284-91-2153
<http://www.kurita.or.jp/>

肥前（佐賀県）有田での磁器の創業は元和2年（1616）と伝えられ、平成28年（2016）で400年の歳月が重ねられました。

とくに江戸時代の有田及びその周辺で生産された磁器は、出荷された港名から「伊萬里焼」と呼ばれ、時代を通してさまざまな製品が作られたことが知られています。初期伊萬里から古九谷、柿右衛門、金襴手と、創業から約80年で数々のスタイルが生み出され、国内はもとより東南アジアや西アジア、ヨーロッパにまで輸出されました。しかし18世紀中期になると、諸事情から海外輸出が途絶えがちになり、販路は完全に国内へと移行することとなったのです。

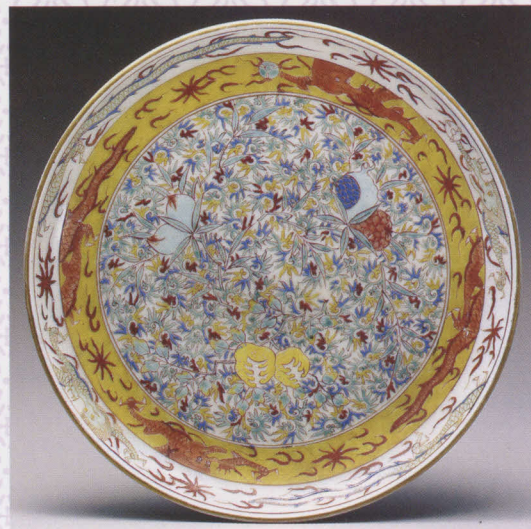
今回の特集では、国内市場の開拓により庶民にまで磁器の食器が普及した、18世紀後期から19世紀中期（幕末）までの製品をご覧ください。華やかな変遷を繰り返した前代の製品に比べ、注目されることの少ない時代ですが、そこには庶民に愛された力作を数多く見ることができます。皿類を中心に飯茶碗や猪口、湯呑から大皿まで、今日でも使いたくなるようなうつわの数々をご紹介します。



伊萬里 染付世界地図文大皿

栗田美術館／特集陳列

江戸後期の伊萬里焼



伊萬里 色絵龍三果文皿



伊萬里 染付蘭人文蓋付碗

伊萬里 色絵唐花雲鶴文小鉢



伊萬里 染付蘭人文稜花大皿

◆学芸担当者による展示解説

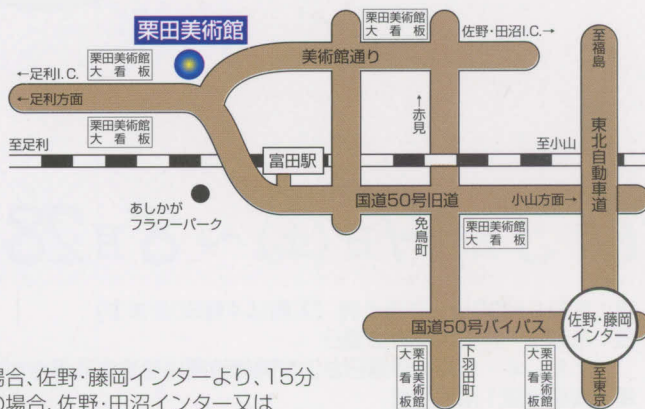
会期中の日曜日 午後2時から
(展示会場へ直接お集り下さい)
ただし都合により中止になる場合があります

栗田美術館 KURITA MUSEUM

〒329-4217 栃木県足利市駒場町1542番地
TEL.0284-91-1026(代)・FAX.0284-91-2153
<http://www.kurita.or.jp/>

【交通のご案内】

- 東武伊勢崎線足利市駅下車、タクシー利用、15分
- JR両毛線富田駅下車、徒歩10分
- 無料大駐車場あり
- 東北自動車道利用の場合、佐野・藤岡インターより、15分
- 北関東自動車道利用の場合、佐野・田沼インター又は足利インターより、15分



栗田美術館友の会より 栗田美術館友の会では会員を募集しております。

●年会費 4,000円(途中入会の方には減額あり) ●電話にてのお問い合わせは ☎0284-91-1026(代) 友の会事務局